

はぐくむ光のびる若芽

(141)

谷中 越川和子

わが家の家族は、私の祖母と父母、妹、主人、私、小4の長女亜澄、小3の長男貴廣の8人家族です。

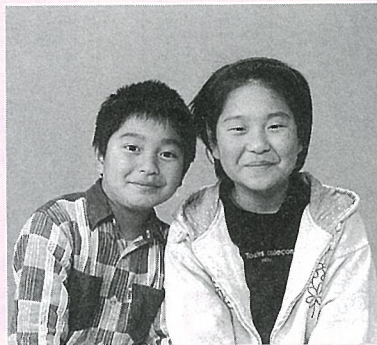
わが家の子育てに関するポジション・役割を身の回りの自然に例えて紹介します。

まず、何でも興味を持ちやりたがる2人の子供たちは、これからいろいろな風に吹かれながら、たくさんの新芽を芽吹かせることのできる若い樹です。主人は、その若樹が安心して根を張り、伸びくることができる大地です。大地は、樹々に栄養、水を与え、また余分な水を吸収してくれます。私は、もちろん燦々と輝やくお日さまかな？など一人決めてんでいます。なぜお日さまかということ、太陽は、人の気持ちと同様にさまざまな照らし方をしているからです。いつでも優しい日だまりだ

けという訳にもいきませんが、子供たちが育っていく上で必要だと思われる光はふりそそいでいきたいと思っています。そして、祖母と父母、妹は太陽が照らし過ぎて見えなくなってしまうので、足りない所を違った光で照らしてくれるお月さまです。

このように、与えすぎたり不足している部分のバランスを取ってくれるので助かっています。さて、わが家の子供たちについていこう。①元気の挨拶。②悪かつたら「ごめんなさい」。③笑顔がいちばんです。特に笑顔ってとても大切だと思います。無理に笑うことは出来ませんが、同じ時間を過ごしていく中で笑い声が無いということ、淋しいものですね。だからちよつとした事ででもゲラゲラ笑えるわが家が私は

笑顔がいちばん



▲ 家族は若樹・大地・太陽・月

大好きであり、いつまでもそつであつて欲しいと思っています。

最後に、今年の夏、ある講演会に出席する機会があり、そこでの講師の先生のおみやげ話をおすそ分けしたいと思います。それは、「VSOPT」です。それぞれの家庭での（その家庭だけの）

V＝バイタリティー（活気ある）
S＝スペシャルティー（特別の）
O＝オリジナルティー（独創的）
P＝パーソナリティー（独特の）
のあるお田さんになって下さいということでした。

わが家でも2人の子供たちにとつてそんな田になれるよう前向きに歩んでいきたいと思っています。



乳幼児には危険がいっぱい

いざというとき、あわてないために

年末年始にかけて、病院がお休みになる期間、小さいお子さんをもつご家族の皆さんは、いざというときあわてないためにも万全の準備をしておきましょう。

- ビニール袋
 - お金、テレホンカード
 - 住所録（連絡用）
 - ミルク、哺乳びん、おむつ類（乳児のみ）
 - 健康時のからだの状態のメモ（体温、体重等）。
- ◎ 緊急時の連絡先を電話の前など見やすいところに はっておこう

○ かかりつけの病院・診療

所（主治医）、夜間・休日診療の医療機関（問合せ先）
0119 八日市場消防署）
○ 家族の勤務先、保育園、幼稚園、学校など。

ません。そのとき薬や包帯を探していたのでは、まにあわないこともあります。左の救急用品を参考に準備しておきましょう。

救急用品



あわてずに



上手な救急車の呼び方

- 1 局番なしの119番にダイヤルする(全国共通)
 - 2 つながると火事が救急力を聞かれるので「救急車をお願いします」と伝える
 - 3 住所、氏名、近くの目標物を伝える
 - 4 状態を手短にはつきり伝える(いつ、何歳の、だれが、どうしたのか)
 - 5 応急手当の指示を受ける(指示があれば行う)
 - 6 家族や近所の人がいれば救急車を誘導してもらう
 - 7 救急車が到着したら隊員の指示に従う
- 救急車が到着するまでに保険証、お金、着替えの衣類などを用意しておきましょう。

難病相談 (予約制)

対象 言葉がスムーズに話せない、歩きづらい、手足のしびれ、めまい、ふらつきなどの神経症状でお悩みの方と家族、併せてパーキンソン病、脊髄小脳変性症の方のリハビリ、交流
日時 2月1日(木) 午後1時30分～3時30分 場所・申込み 八日市場保健所 ☎1281